

若手アカデミー会議（第24期・第7回） 議事録

日 時：令和元年8月23日（金） 13：00～16：00

場 所：日本学術会議 5階5-A(1)(2)

出席者：（敬称略）井藤、岩崎、伊藤、井頭、岩村、岩永、宇南山、遠藤、隠岐、大矢根、小野、狩野、川口（Skype）、笠井、岸村、小堀、小森、實藤（Skype）、住井、高山、竹村、高瀬、高槻（Skype）、田井（Skype）、武田、土屋、遠野、中村、中西、中澤、西嶋、林、松中、森、安田、春日、新福、埴淵（Skype）、平田

オブザーバー：江端 新吾氏（東京工業大学教授、統括理事・副学長特別補佐、内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付〔総合科学技術・イノベーション会議事務局〕上席科学技術政策フェロー）

【議題】

（一）幹事団からの報告、各分科会からの報告

冒頭、岸村代表からNHKの絹田氏が傍聴することについて紹介があった。

● 幹事団からの報告（幹事団）

・Gサイエンス学術会議への専門家派遣について【2019/3/25-26】

新福副代表より、パリでの同会議に出席して各国代表とともに議論を行い共同声明を執筆したこと、およびG7サミットに向けて共同声明を総理官邸で手交したことについて報告があった。

・日本学術会議総会での活動報告について【2019/4/24】

岸村代表から総会で活動報告を行ったことについて報告があった。

・文部科学省科学技術・学術審議会での議論について

岸村代表および新福副代表から同審議会での議論について報告があった。その後、第6期科学技術基本計画および人文社会系のプロジェクトに関する意見交換が行われた。

・外務省科学技術外交推進会議での議論について

西嶋会員から同会議の紹介があった。

<その他>

・筑波会議について【2019/10/2-4】

新福副代表から同会議の紹介、特に若手アカデミーが関係するセッションについての紹

介があった。

- ・日本学術会議総会での発表について【2019/10/16】
岸村代表より、総会での発表について協力依頼がなされた。特に、AIによる政策提案等に関する議論について協力依頼がなされた。また、意見交換がなされた。
- ・新メンバー募集について
岸村代表より新メンバー募集の結果について紹介があり、4名の特任連携会員候補を若手アカデミーから幹事会へ推薦することについて、承認された。
また、若手アカデミーを退任する狩野会員、宇南山会員、中村会員より挨拶があった。
- 各分科会からの報告（分科会役員）
 - ・若手による学術の未来検討分科会
平田会員より、同分科会の活動について紹介があった。特に、博士号を取得・博士課程満期退学した後に民間に移った人を対象としたインタビューを書籍化する企画について紹介があった。
 - ・若手科学者ネットワーク分科会
岩崎幹事より、同分科会幹事団人事について岩崎、井頭、酒折がそれぞれ委員長、副委員長、幹事に変わったことについて報告があった。また、安田会員が同分科会から外れることが承認されたことについて報告があった。加えて、若手科学者サミットは開催するかどうかも含めて検討中であることについて報告があった。最後に、若手科学者ネットワークを活用してほしい旨の依頼がなされた。
 - ・イノベーションに向けた社会連携分科会
高山会員から分科会活動の概要の紹介があった。また小野会員より、来年開催予定の名古屋での公開シンポジウム企画案について紹介がなされた。さらに遠藤会員より、提言発出についての準備を進めていることについて報告があった。
 - ・国際分科会
新福副代表より、Global Young Academy 年次総会および運営状況についての報告があった。また安田会員からダナンで開催された Worldwide Meeting of Young Academies についての報告があり、日本と世界の若手アカデミー活動についての紹介があった。また新福副代表より、11月20-23日に開催予定の World Science Forum について、また Global Young Academy 年次総会の 2021 年招致を検討していることについて報告があり、若手アカデミーとして協力することを承認した。

(二) 科学者委員会、同各分科会での取り組み

- 出席者からの報告

- ・ 科学者委員会＋軍事的安全保障研究声明に関するフォローアップ分科会
岸村代表より、科学者委員会の活動状況について報告があった。また、軍事的安全保障研究声明に関する議論の呼びかけがあった。
- ・ 男女共同参画分科会（アンケート検討小分科会）
新福副代表より、同分科会の活動について報告があった。特に、アンケートを進めていることについて報告があった。
- ・ 学術体制分科会
岩崎幹事より、同分科会の活動について報告があった。特に、第6期科学技術基本計画に向けての提言の取りまとめ状況について報告があった。
- ・ 研究計画・研究資金検討分科会
大矢根会員より、同分科会について報告があった。特に、マスタープラン2020策定に向けての活動について紹介があった。
- ・ 学術と教育分科会
西嶋会員より、同分科会の議論について報告があった。
- ・ 研究評価分科会
松中会員より、同分科会の議論について報告があった。特に、人文社会系の研究評価について議論が行われていることについて紹介があった。

（三）その他

- 今後の総会の開催計画、地方活性化活動の計画
新福副代表・中澤会員から来年1月開催予定の全体会議およびワークショップについて紹介があり、ワークショップの内容について議論があった。
また、本ワークショップを若手アカデミー主催で開催することについて承認された。
- 24期若手アカデミーとしての今後の活動について
24期若手アカデミーとしての今後の活動について、活発な議論が行われた。
若手アカデミーの活動内容の理解促進に向けて、ロゴ、パンフレットに続き、キャッチコピーを決めてはどうかとの案が出た。